

KATAYAMA ACOUSTIC CHAMBER

音が変わる？
アコギ用アタッチメント登場

L:AC-1GS 20,000円(税抜) / R:AC-baby 10,000円(税抜)

アコースティック・ギターは、エレクトリック・ギターのように簡単にサウンドを変えることができない。しかし、近年“カタヤマ・アコースティック・チェンバー”という製品が発売され、マニアックなギタリストの間で話題となっている。これは、ギターの内部に取り付ける小さなアタッチメントで、トーン・キャラクターを変化させるユニット。接着剤やギターの改造などは必要なく、ほとんどのアコースティック・ギターに装着が可能。取り付けには特別なスキルや工具なども必要なく、初めての人でも10分ほどで完了する。さらに脱着が可能なので、この効果をいつでも何処でも楽しめるという、ギタリストにとっては夢のような製品である。柔軟でユニークなアイデアを元に開発されたカタヤマ・アコースティック・チェンバー。その実力と効果を確認してみた。

■K.A.Cとは？

上の写真を見ただけで、この製品がどのようなモノであるかを理解できる人は極めて少ないだろう。カタヤマ・アコースティック・チェンバー(以下K.A.Cと省略)は、ボディ内部ブリッジ裏側のブリッジプレート(ブリッジ部の補強とトーンをコントロールする目的で取り付けられる木製プレート)に弦のボ

ールエンドを利用して取り付けられるスタイルの木製ユニットである。これを装着することで、サステインが延びたり、トーンや音量が変化するという、一種のアコースティック・ギター用アタッチメントとして開発された。

製品を説明する前に、アコースティック・ギターの音が作られる原理を簡単に説明しよう。弦を弾くと弦が振動し、そのエネルギーがボディ側とネック側に分かれて伝わっていく。ネック側はソリッド材で作られているため音に変換されにくい。ボディ側には軽量で振動しやすいサウンドボード(ボディ・トップ)が付いているため、弦振動エネルギーがボードを振動させる。また、弦のテンション(張力)もサウンド作りに大きく関わっている。テンションもナット側とブリッジ側に分かれるが、ブリッジ側は構造上ブリッジプレート、ブリッジ、サウンドボードをネック側に回転させる方向に力が作用する。この弦振動エネルギーと弦のテンションとが様々なパーツの中で複雑に作用しあいながら、サウンドボードやギター全体を振動させることで音に変換されている。

アコースティック・ギターは、これらのエネルギーとテンションとが

相互作用しながら絶妙なバランスを保った中で音が作られている。そのバランスが僅かでも変われば、当然トーンや音量、サステインは変化し、異なったサウンドになる。K.A.C.は、弦のテンションを従来のブリッジプレートではなくユニットが最初に受け、そのユニットがブリッジプレート、ブリッジ、サウンドボードにテンションを伝えるという構造である。本来ブリッジプレートは、6つの弦のボールエンドやブリッジピンからピンポイントで強いテンションを受けるため、どうしてもプレートがゆがんだり変形しやすい。K.A.C.はそのテンションを点ではなく面でブリッジプレートに伝えることで、プレートの歪みを補正すると共にサウンドボードの振動をより円滑にし、トーンや倍音、サステイン、音量に影響を与えるというユニットである。また、立体的なチェンバー(部屋、箱)構造であるため、そのチェンバー内での共振が特有のリバップ的な効果や整流効果も生みだしているようだ。

■サウンド

K.A.C.を使用すると、ギター・サウンドはどのように変化するのだろうか？そこで、編集部では3本のギターに2種類のK.A.C.を装着し、そのサウンドの変化を確認した。取り付けたギターは下記の3モデル。

- 1: COLLINGS D-1 (AC-1GS)
- 2: LARRIVEE OM-01 (AC-1GS)
- 3: MARTIN D-28 (AC-baby)

結論から先に言うと、K.A.C.の効果を一口で語ることは難しい。というのは、取り付けるギターによってサウンドの変化が異なるからだ。以下は、それぞれのギターに取り付けた時のプレイヤーの印象である。

1: COLLINGS D-1

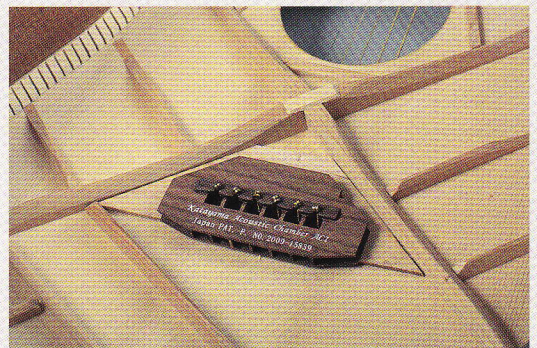
AC-1GSを取り付けた時の印象は、やや軽やかなトーンになり、ブライトでまとまりの良いサウンドになった。サステインはより長くなり、アタック感がやや弱めになった印象もある。音量の変化はあまり感じられない。

2: LARRIVEE OM-01

AC-1GSを取り付けた印象は、中音域の音量が多少アップし、音のメリハリはやや抑えられ、サステインは長くなった。

3: MARTIN D-28

コンパクトなAC-babyを取り付けた印象は、トーンが多少ブライトになり、サステインはより長くなった。以前よりサラリとした爽やかなサウンドに感じられた。



ギター内部のブリッジプレート部分にセットしたK.A.C.。弦のボールエンドを利用してくり付けられるので脱着が可能。